

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

②事業者情報

| | | | |
|--------|--------------------------------------|-----------|--------------------|
| 名称： | グループホームすてっぷ | 種別： | 共同生活援助 |
| 代表者氏名： | 管理者 北田 壮 | 定員(利用人数)： | いっぽ 7 すてっぷ 17 名 |
| 所在地： | 〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 3 7 5 - 5 | TEL | 049-292-0055 |

③評価実施期間

令和 3年 2月 1日(契約日)～令和 3年12月20日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

1. 利用者と家族間の関係性継続を大事に考え、利用者本位の支援をしている
利用者、家族との関わりの中で、利用者と家族との絆の深さを感じ、気持ちに寄り添った支援をしている。コロナ禍で、人と人が集まることの自粛が求められ、地域の行事や事業所内の行事はほとんどが中止となっているため、利用者は地域の中で暮らしながらも、地域の方との接点を持ちにくい状況を余儀なくされている。多くの福祉施設では、家族の面会も制限している。このような状況の中でも、当事業所では、どうしたら利用者と家族のつながりを保つ支援ができるかの検討を重ね、面会や実家への外泊支援継続につなげた。職員は、リスクがあるからやらないではなく、大事なことをどうしたらできるかを考える支援に努めている。

2. 職員の都合ではなく、利用者の心身の状況と意向にそった支援に努めている
利用者の意向確認は、ひとり一人の能力に応じて対応している。意向を表出できる利用者には、「～したい」「～できるようになりたい」という気持ちを確認して、それに向けた課題解決に向けた支援をし、表出が難しい利用者には、家族からの情報や「好き」「嫌い」の感情表現をキャッチして対応している。特に、意向の表出ができる利用者の排泄支援などは、職員の都合で支援方法を定めることはなく、尊厳を大事にして利用者の気持ちを確認している。職員からできないと決めつけることはなく、パソコンや携帯電話の使用をサポートすることで、自分で好きなサイトをみることができるようになり、自分で情報を得ることができるようになった利用者もいる。

3. 事業所を超えた委員会活動を通して質の向上に努めている
事業所単体ではなく、法人全体で委員会活動を組織している。委員会は「危機管理委員会」「人材育成委員会」「行事・広報委員会」「品質向上委員会」「苦情解決委員会」「個人情報保護委員会」「感染症対策委員会」があり、「危機管理委員会」は「事故防止部会」「権利擁護防止部会」「防災・防犯部会」「安全衛生部会」に分かれて活動している。委員会には各事業所の職員が所属し、委員会で決められた内容を事業所に持ち帰り共有できるようになっている。新型コロナウイルスの流行に伴い、感染症対策委員会ではそれまでの標準予防策を見直し、委員会が事業所を視察し各事業所にあった方法で感染症対策を強化するなど、内部の職員だけでなく、事業所外の職員も一緒に、対応方法を検討することによって、より質の高い感染症対策になるようにしている。

◇特にコメントを要する点

1. 今後の利用者のニーズの変化に対応した、様々なサービスの検討
これまで、利用者の独居に向けた支援など、様々な利用者のニーズの掘り起こしや、実現に向けた支援をおこなってきた。今後、高齢化など利用者のニーズが多様化していくことに合わせ、24時間体制など、新たなサービスを提供することなどが検討されている。新たなサービスを提供することにより、より安定した収益を期待できる可能性もあり、利用者や地域などからニーズの調査を継続し、新たな取り組みの検討をしていくことが期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の第三者評価結果をうけて、これまで取り組んできた利用者、家族を中心とした利用者本位のサービス提供が職員、事業所目線ではなく俯瞰的に評価されることにより、取り組みの意義や目的を再確認する事ができた。今後も、自主性や自立心など「すてっぷ」設立より支援の柱にしている理念は踏まえつつ、利用者や時代の変化に対応できる柔軟な体制構築を推進していく所存である。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり